

事業報告書

～だれもが地域で安心して暮らせるまちづくり～

令和5年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



WAM 助成

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

社会福祉法人 日本厚生学園

1. 事業概要

当法人が公益事業として柳川市に開所している地域食堂ぼたもつつぁんにおいて、だれもが地域で安心して暮らせるまちづくりを目的として、以下の(1)から(4)までの取り組みを行った。

(1)子育て世代が地域の人や専門職と気軽に交流し、子育てのアドバイスや支援を受けたり、気持ちを共有したりし、子育ての孤立を防ぐ。

(2)子どもが自己肯定感を育んだり、コミュニケーション能力を高めたりしながら、地域の中で子育てをする仕組みを作り上げる。

(3)多世代の地域の方々が交流する中で、異なる価値観への理解を深める。

(4)地域の情報を集めて、早期に孤立や引きこもり、安否確認などを行う。

上記の取り組みを行うために、柱立てを1から3まで設定し、事業を進めていった。

● (柱立て1)

子ども・若者を地域全体で育て・守る事業

子ども・若者たちが地域での活動や交流の場が減少している中で、孤立した家庭環境を地域住民や専門職など、地域全体で子育てできる交流の場の体制を構築する。

具体的には、定期的な地域食堂の開催及び絵画教室や音楽教室、学習支援を実施する。

● (柱立て2)

高齢者や子ども家庭など孤立しがちな家庭を救い上げるアウトリーチ事業

地域食堂やコミュニティーセンターへ来られている方だけではなく、自宅から出て来られない、もしくは地域で孤立している家庭が虐待など生まないため状況を早期に関係機関へつなげられるよう、民生委員や行政、地域住民などと一緒にアウトリーチを行う手段を提供する。

具体的には、定期的に校区の民生委員の方々と一緒にお弁当や食料等を配達する。

- （柱立て3）

スタッフ養成講座・相談会・座談会

居場所スタッフの拡充および育成を図る。また、子育て家庭の保護者などが気軽に相談できる場を提供し、虐待や DV 被害など生まないように予防する。

具体的には、外部専門家による研修会、相談会、ママさん座談会など定期的に実施する。

2. 事業成果

- (1)子育て世代が、地域の人や臨床心理士などの専門職と気軽に交流し、子育てのアドバイスを受けたりする機会を提供することができた。
- (2)絵画教室や製作などのイベントを通して、子どもたちが交流する機会を提供することができた。
- (3)多世代の地域の方々が交流する居場所を提供し、様々な価値観に触れる機会を提供することができた。
- (4)地域の方々から困りごとなどの相談を受け、地域の課題を把握することができた。

2-1. (柱立て1)子ども・若者を地域全体で育て・守る事業

音楽イベント、絵画教室、各種製作、クリスマス会、おにぎりアクションなどのイベントを開催し、地域の子どもたちが交流する機会を提供した。

定期的に地域食堂を開催し、子どもの数が少なくなっていること、老々介護を行っている方がいらっしゃる、不登校にある子どもたちの保護者の方が集う場所がないなど、地域の課題を把握することができた。

い草製品などの製造している地元の会社の方に協力していただき、い草によるうちわ、クリスマスのリース、しめ縄、コースターを作る体験を子どもたちに提供することができた。

表2－1. 柱立て1の事業実績

対象者の層	地域の子ども、保護者、地域住民	
日時 および回数	地域食堂	週2回、年76回
	教室	週1回、年33回
延べ人数 および実人数	地域食堂	1回当たりの実人数21人、延べ約1580人
	教室	1回当たりの実人数28人、延べ928人

地域食堂



農園



お面作り体験



2-2. (柱立て2)高齢者や子ども家庭など孤立しがちな家庭を救い上げるアウトリーチ事業

校区の民生委員の方に、お弁当配達ニーズがある方に関する情報の提供を求めた。また、柳川市社会福祉協議会と連携し、お弁当配達ニーズに関する聞き取りを行った。

校区の民生委員の方に、お弁当配達ニーズがある方に関する情報の提供を求めた。しかし、個人情報保護の観点から、情報の提供を受けることができなかった。

また、柳川市社会福祉協議会と連携し、お弁当配達ニーズに関する聞き取りを行ったが、実際にお弁当を配達する体制を整えることができなかった。

柳川市の方ともお話をし、引きこもり状態から抜け出すためにも、お弁当の配達よりも、自宅以外の居場所作りが必要であると指摘された。

表2-2. 柱立て2の事業実績

対象者の層	独居高齢者、生活困窮状態にある子ども、保護者
日時 および回数	なし
延べ人数 および実人数	なし

2-3. (柱立て3)スタッフ養成講座・相談会・座談会

ベビーマッサージ、ヨガ体験、認知症サポーター養成講座、ワンヘルスや介護予防などをテーマとした講演会、整骨院講師による講演会、ゆるっとカフェ、作業療法士による健康体操などを行った。

ベビーマッサージ、ヨガ体験、ゆるっとカフェなどのイベントを定期的に行い、地域の子育て家庭が集まり、気軽に交流できる居場所を提供することができた。

また、外部講師による認知症サポーター養成講座を開催し、地域のボランティアの育成を図ることができた。

その他にも、各種の講演会を月1回の頻度で開催し、外部専門家と地域の方々がつながる機会を提供することができた。

表2-3. 柱立て3の事業実績

対象者の層	スタッフ、ボランティア、子育て家庭
日時 および回数	年間32回
延べ人数 および実人数	1回当たりの実人数約8人、延べ264人

3. 今後の事業展開について

引き続き、地域の方々が安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域食堂や様々なイベントを開催していく。

地域の方々とお話をする中で、不登校の状態にある子どもたちの保護者が集まる場所がないというニーズが発見されたため、お弁当を配達する代わりに、対象者を限定して昼食を安価に提供する機会を作っていきたいと考えている。



社会福祉法人 日本厚生学園

〒837-0922
福岡県大牟田市大字今山755

TEL:0944-53-8204
FAX:0944-41-1110

Web:<https://kousei-gakuen.jp>